

結核は身近な感染症！

日本国内では、平成30年に年間15,590人の新登録患者が発生し、2,204人（概数）が亡くなっています。

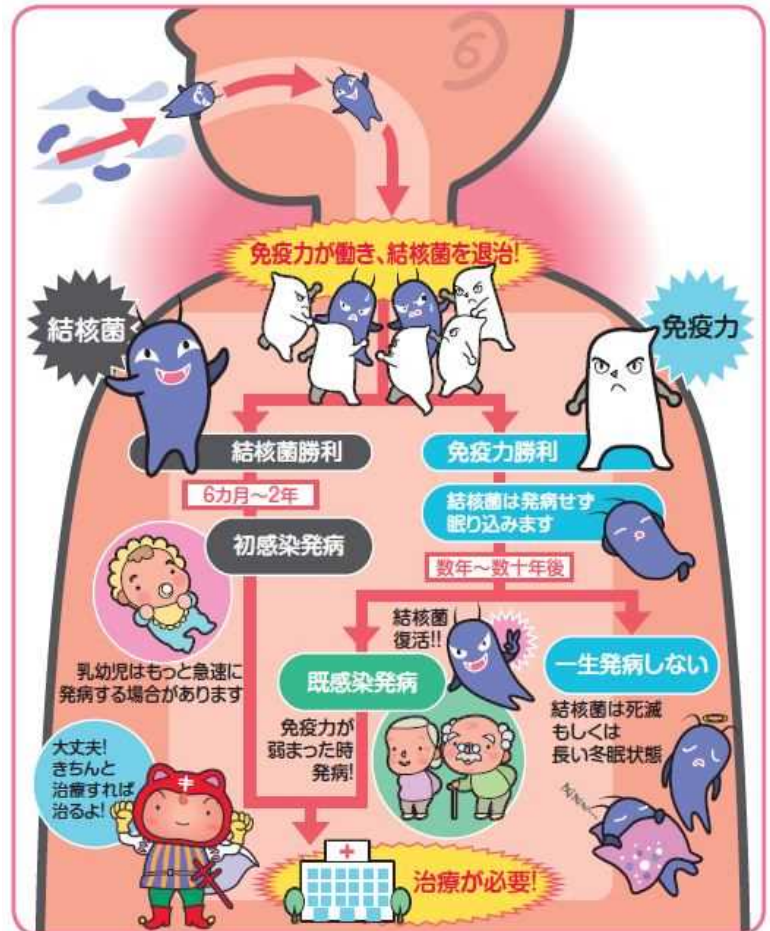
北播磨圏域では令和元年に29人の新登録患者が発生しています。

結核はどんな病気？

咳やくしゃみで空気中に**結核菌**が漂い、それを吸い込むことによって**感染**します。

人間の体には結核菌に負けない抵抗力があり、結核菌が入り込んでもすぐに病気になるとは限りません。

糖尿病などの病気や加齢により抵抗力が弱まっていると、肺の奥に潜んでいた結核菌が活動しはじめ、発病します。



せき・たん・熱が出るなど風邪によく似た症状が現れます。

せき、たんなどが2週間以上続くようなら要注意です。

早めに医療機関を受診しましょう。

* 高齢者では、せき・たんが出ずに、発熱や食欲不振・体重減少のみの場合も多く見られます。

最近の結核の特徴は…

外国人(労働者等)の割合が増加傾向

- ・結核患者が多いとされる地域から入国された方

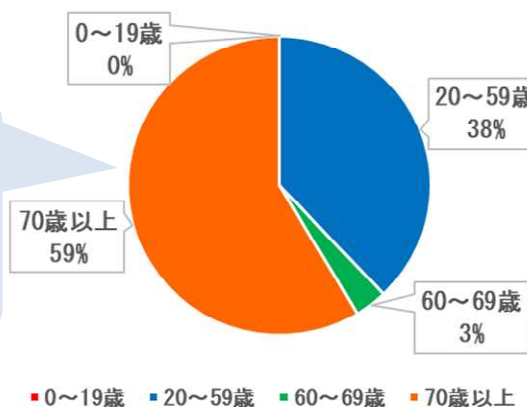
働き盛りの人の発見の遅れ

- ・アルバイト、派遣社員などで、健診機会のない方
- ・職場健診で異常を指摘されたにもかかわらず精密検査を受けない方
- ・症状を風邪と思い込んで受診しない方

70歳以上の発病者が約6割

- ・若い頃に結核に感染した方が抵抗力の低下に伴い発病

年齢別割合 (R元年北播磨圏域)



※結核と診断されても、6ヶ月から9ヶ月間毎日複数の薬をきちんと飲めば治ります。

職員の健康を守る (定期健診)

快適な職場づくり
生産性の向上
経営の強化

感染拡大防止のためにも、症状が続く職員や、健康診断で精密検査が必要となった職員には、受診を促しましょう。

予防法は？

- 長引くせきなど気になる症状があれば、ただちに**医療機関へ！ (早期発見)**
- 年に一度は胸部エックス線検査などの**定期健診**を受けましょう。(早期発見)
- 乳幼児は生後5か月を過ぎたら早めに**BCG接種**を受けましょう。(免疫付与)
- 健康管理に気を付けて、**病原体への抵抗力**を高めましょう。(からだづくり)

結核に関するお問い合わせ・ご相談

兵庫県加東健康福祉事務所 (加東保健所) 健康管理課

TEL 0795-42-9436